

「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書

住民説明会及び意見交換会

第1回 開催報告

議事概要

対象地域：栄東連合町内会の地域

開催日時：平成30年9月19日（水）19：00～20：30

開催場所：日の丸会館（札幌市東区北41条東14丁目3-1）

参加者数：市民16名（地域の方11名、地域以外の方5名）、報道関係者3名
札幌市（事務局）3名、北海道（オブザーバー）1名、
道銀地域総合研究所（事務局）4名

計27名



1. 開会挨拶

（札幌市より挨拶）

2. 出席者の紹介

（事務局紹介）

3. 「丘珠空港の利活用に関する検討会議」報告書の説明

（札幌市より説明）

4. 意見交換

＜地域の方より＞

○ご意見

【利活用の検討の進め方について】

- ・全体の話が見えない。今後の住民説明会の実施の有無や、正式決定までのプロセスを先に説明しないと全体の枠組みがわからない。
- ・様々な要望の中で話がまとまり、空港を利活用して、楽しいことも取り入れたいという意見につながってほしい。
- ・費用や騒音の問題など、個別具体的な問題と全体像の青写真の問題は一緒の次元では話せないで、そのギャップを行政責任として埋めるべき。
- ・経済界等からの要求があるのであれば、経済面の意見を尊重して検討してほしい。

【利活用策について】

- ・北区、東区の空港付近の住民にメリットがある施策も盛り込んで計画すべき。札幌市の活性化や経済効果だけでは一般市民は納得しない。
- ・丘珠空港からディズニーランドに行けたらいいねと近所の人達ともよく話している。
- ・滑走路を延長し便数を増やせば、地域も活性化する。
- ・今年「北海道 150 年」の年であるが、これを契機にして推進して欲しい。予算がかかっても、札幌市の経済発展や利便性等々期待できる。
- ・丘珠空港の役割を最大限に拡大させていくということが使命だと考える。それが札幌市の経済発展、諸々の条件を良くすることにつながる。

【空港周辺の環境について】

- ・安全対策が重要である。悪天候時の対策等を説明すべき。
- ・滑走路の近くで施設を経営しているが、ほとんど騒音を感じたことがないし、滑走路の延長や増便、機種の変更で、そんなに大きく変わるものではないと思う。
- ・以前にも騒音問題があったが、市民にも受忍義務というようなものがある。

【本説明会の運営について】

- ・議論する時間が少ない。もっと時間を取ってほしい。

【その他】

- ・丘珠空港は非常に利便性がよい。今回の震災では、新千歳空港は2日間欠航だったが、丘珠空港では問題がなかった。
- ・都心から6~8kmと近く交通機関から降りて飛行機に乗るまでたったの200mであり新千歳と比べ、高齢者などにとっては便利だ。

○ご質問**【利活用策について】**

- ・まずは現状の滑走路を最大限活かして利活用を行うべきと考えるが現状の1,500mでの利活用は検討しないのか。

(回答) 現在の滑走路で行える内容も報告書では記載している。今後の説明ではわかりやすく伝えていきたい。

<地域以外の方より>**○ご質問****【利活用の検討の進め方について】**

- ・この意見交換会の結果を受けて今後どのように進めていくのか。

(回答) 現時点でどのような進め方になるかは決まっていない。今後、総合的に判断して方針を決めていくことになる。

【利活用策について】

- ・2,000mに延長すると篠路通に影響が出てくると思うが、どのように対応するのか。

(回答) 現在の検討では迂回させる考えである。今後、実行する前提があれば、詳細に検討する必要があると考えている。

【整備に関わる費用について】

- ・最近完成した多額の税金をかけた緩衝緑地帯が、滑走路延伸により無駄になる。

(回答) 現在、実際に緑地をどうするかというところまではまだ検討していない。ある程度延長の方針が出た段階で、実際にどういう整備をするか検討することになるが、過去の経緯は尊重したい。

【本説明会の運営について】

- ・説明会は広く色々な人に参加してもらい意見をもらうために、地域を限定せずに開くべきではないか。

(回答) その地域の持っている特性を把握するために、地域外からの意見と分けて整理する必要があると考え、地域ごとに説明会を行っている。地域外の方も含め本日参加できなかった方については、別途懇談会の要望も受け付けている。

- ・地域の参加人数が非常に少ないが、今日の会の記録が地域の総意として残るのか。

(回答) 人数の多寡だけで判断することは考えておらず、今後も意見を頂く機会を作る予定である。

5. 閉会

以上